

平成 30 年 4 月 3 日

各 位

太 陽 生 命 保 険 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 田 中 勝 英
東 京 都 中 央 区 日 本 橋 2 丁 目 7 番 1 号



太陽生命、『認知症予防アプリ』を全面リニューアル！ ～ご家族と一緒に楽しく取り組む認知症予防～

T & D 保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田中勝英）は、平成30年4月2日より、認知症の予防をサポートするスマートフォンアプリ『認知症予防アプリ』を全面リニューアルしましたのでお知らせいたします。

歩行速度は加齢とともに徐々に低下していきませんが、歩行速度が急に遅くなった場合には、認知症の前段階である軽度認知障害（MC I）のリスクが上昇している可能性があることが近年の研究によってわかってきています。

『認知症予防アプリ』は、歩行速度を継続的に測定し、将来の認知症・MC I のリスク予兆が発見された場合にご本人と指定されたご家族（見まもり家族）に通知する国内初^(※1)のスマートフォンアプリであり、東京都健康長寿医療センターの大淵修一医学博士監修のもと開発を行い、平成28年10月よりお客様への提供を開始しています。

この度、モバイル、インターネットサービスを手掛けるネオス株式会社（社長 池田昌史）との共同開発により、『認知症予防アプリ』を全面リニューアルし、以下のとおり機能の充実を図りました。

トップ画面はデザインを一新し、利用者ご本人と見まもり家族の歩行状況をリアルタイムで同時に確認できるようになりました。見まもり家族は最大10名まで登録することができ、ご家族と一緒に運動習慣の改善を図ることができます。また、新たな機能として、日替わりで出題される「脳トレドリル」に取り組むことにより、注意力、発想力等の7つの能力^(※2)を効果的に鍛え、脳機能の活性化を図ることができます。

さらに、歩行状況および「脳トレ」の成績を同年代の利用者と比較できる「ランキング」機能により、毎日楽しく認知症予防に取り組むことができるようになりました。

当社は、超高齢社会の到来に向け大きな関心が寄せられている認知症のリスクに備えるべく、平成28年3月に生命保険業界で初めて健康に不安のある方でも加入できる、認知症による所定の状態を保障する保険「ひまわり認知症治療保険」を発売し、大変ご好評をいただいています。^(※3)

太陽生命は、これからも超高齢社会「人生100 歳時代」の到来に向け、商品とサービスを一体的にご提供する取組みを進めてまいります。

(※1) スマートフォンで歩行速度の変化を測定し、認知症・MC I（軽度認知障害）の予防につなげるアプリは国内初となります（株式会社 InfoDeliver（アプリ開発会社）調べ）。

(※2) 脳トレで鍛える7つの能力とは、注意力、発想力、計算力、思考力、空間認識力、言語力、記憶力をいいます。

(※3) 簡単な告知により加入できる選択緩和型の商品で、認知症について保障する保険は生命保険業界初となります（一般社団法人生命保険協会加盟41社について、当社調べ（平成27年12月末時点））。「ひまわり認知症治療保険」「認知症治療保険」の合計販売件数は32万件を超えています（平成30年3月末時点）。



100歳時代シリーズ

ひまわり認知症治療保険 100歳時代年金

七ヶツケ隊



■ネオス株式会社の概要

〔会社名〕 ネオス株式会社

〔代表者〕 池田 昌史

〔所在地〕 東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館

〔URL〕 <https://www.neoscorp.jp/>

〔設 立〕 2004年4月

〔グループ事業内容〕

- ・エンタープライズソリューション事業

企業のさまざまなニーズに対応した I C Tサービスの企画段階からの提供

- ・テクノロジープラットフォーム事業

通信キャリア等に対する技術力を基盤とするアプリケーションやシステムの提供

- ・コンテンツサービス事業

個人から法人まで、専門的な知見とクリエイティブに基づいたコンテンツの提供

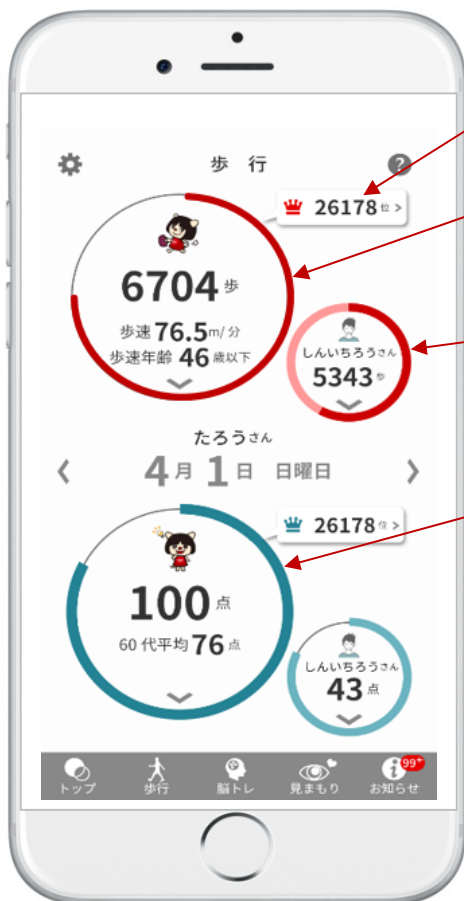
以 上

認知症予防アプリの概要

認知症予防アプリの主な機能について

- 歩行速度測定** : 歩行速度を継続的に測定し、将来の認知症・MCI（軽度認知障害）のリスク予兆を検知します。歩行速度の低下と認知症・MCIの発症リスクには関連があると考えられており、運動習慣等の生活改善によって認知症の予防に繋げることができます。
- 脳トレ** : 日替わりで出題される脳トレドリルで、ゲーム感覚のトレーニングを行い、注意力、発想力等の7つの能力を効果的に鍛え、脳機能の活性化を図ることができます。
- 家族連携機能**
 - ・見まもり家族 : 利用者が家族や友人を見まもり家族に登録すると、お互いの歩行状況や脳トレの成績が並んで表示され、「一緒に取り組む」気持ちを応援します。
また、見まもり家族は最大10名まで登録できるようになりました。
 - ・お知らせ機能 : 歩行速度が低下したときや、歩行計測が一定時間行われていない場合などに、見まもり家族にお知らせします。
- ランキング機能** : 歩行状況および脳トレの成績を同年代の利用者と比較できるようになり、毎日楽しく認知症予防に取り組むことができます。

トップ画面



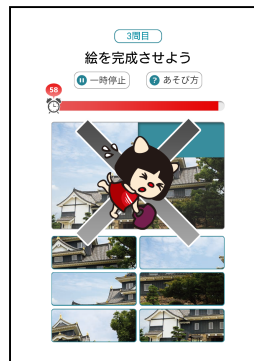
見まもり画面



脳トレについて

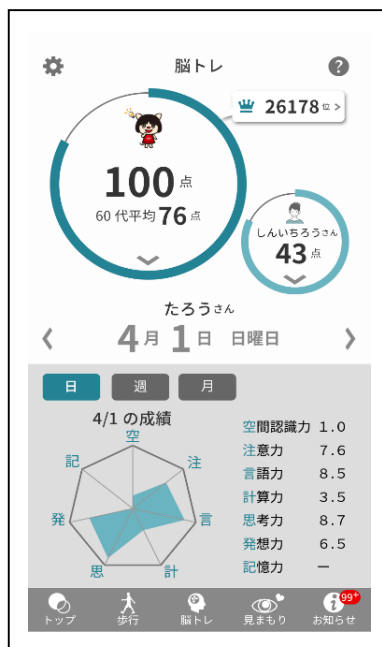
■ 毎日更新される脳トレ

毎日問題を早く解くように意識することで、効果的に脳を鍛えることができます。「速く」「正確に」問題を解くことが高得点に繋がります。



■ 能力別にグラフ化

脳トレ結果の点数とあわせて、7つの能力ごとの点数をレーダーチャートでわかりやすく表示し、自身の弱い部分を把握することができます。



■ 効果的な脳の鍛え方

脳の血流を分析した研究によって、より脳を活発に活動させるには、難しい問題をゆっくり解くよりも、少し考えれば解けるくらいの簡単な問題を素早く解く方が効果的であることがわかっています。脳トレを継続することで、7つの能力から効果的に脳を鍛えることができます。



■ 各能力の説明と低下した場合の影響

能力	能力の説明	低下した場合の影響
【空間認識力】	空間の中で、位置や形などを認知する能力のことを指します。	慣れた道に迷ったり、ものにぶつかりやすくなったりといった症状がみられます。
【注意力】	注意の持続性、選択性、転導性、分配性の総合的な能力のことを指します。	自分が今行動していることを忘れて違う行動に移ってしまうなどの現象がみられます。
【発想力】	様々なものを短時間で思いつくことができる能力のことを指します。	ジョークが理解できなくなったり、話の筋がわからなくなったりします。
【計算力】	足し算・引き算などの計算をする能力を指します。	おつりの金額が分からなくなったり、支払う金額を間違えたりします。
【思考力】	考える能力のことを指します。	筋道をたてて論理的にものごとを考えることができなくなります。
【言語力】	言語に関わる総合的な能力のことを指します。	名前がでてこなくなったり、考えをうまく言葉にできなくなったりします。
【記憶力】	記憶は長期記憶と短期記憶に分けることができます。	短期記憶は主に「海馬」と呼ばれる部分で整理・保存されています。認知症になると海馬が小さくなり新しい内容を覚えることが難しくなります。